

## 平成 30 年度 第一回 宜野湾市市民協働推進審議会 会議録（要旨）

日時：平成 30 年 5 月 21 日（月）午後 7 時 0 0 分～午後 9 時 0 0 分

場所：宜野湾市役所 第三常任委員会室

出席：岩田直子委員長、稲垣暁委員、宮道喜一委員、大城周子委員、島袋盛子委員、城間仁委員、新垣真弓委員、松本勝利委員、市民協働推進アドバイザー櫻井常矢氏

欠席：久米保源委員、森根清昭委員、

- ・市民協働推進課長あいさつ
- ・委嘱状・辞令交付
- ・宜野湾市市民協働推進協議会について  
各委員自己紹介  
委員長副委員長の選任（岩田委員長、稲垣副委員長で全員了承）

### 開会

**委員長** 会議規則第 6 条第 2 項に基づき、委員の半数以上が出席しておりますので、本会議は成立いたします。ではこれより議事の進行を進めてまいります。

議題 1：市民協働推進審議会の進め方について（案）、事務局から説明をお願いします。

**事務局** それでは事務局より、ご説明させていただきます。配布しています資料市民協働推進審議会の進め方について（案）をご覧くださいと思います。

#### 【資料に沿って説明】

**委員長** ありがとうございます。それでは、議題 1：市民協働推進審議会の進め方について（案）の説明が終わりましたが、それについて、何かご質問等があればお伺いしたいと思います。

**委員** 中間見直しは、重点施策の見直しを行うということでしょうか。

**事務局** 今回は中間見直しになりますので、大幅な改正はないかと考えております。具体的施策の追加や統合、入れ替えなどや、重点施策 12 本の見直しを考えておりますが、委員の皆さまからのご意見を踏まえて進めていきたいと考えております。

**委員** 見直しについては、施策一覧があつて、重点施策一覧があるとおもうが、重点施策の進捗については、第2回で説明があり、意見を交わすという事で良いか。

**事務局** 第2回で全ての項目について、事務局のコメント付きで振り返ることを想定しております。それと一緒に重点施策を検証していきたいと考えております。

**委員** 見直していく上での、進捗が進んでいないところをどうしていくのか。順調に進んでいるところを評価するのか。見直しについての視点はどのように考えているのか。

**事務局** 見直しの視点としては、昨年度の協議会で挙げられた3本の柱、「情報収集・発信」「中間支援機能の調査研究」「コミュニティ支援」を進めていくために必要なものを重点施策へ反映させたいと考えております。

**委員長** 審議会の日程は4回で決定なのか。

**事務局** 案として4回としているが、その後必要であれば、あと1回は開催できます。

**委員長** 今年度のゴールは見直しの合意ができることと考えて良いのか。

**事務局** 今年度は、市民協働実施計画の見直し案を完成させることがゴールと考えています。

**委員** 計画の見直しはとても重要だと思う。

先ほどの3本の柱をどう進めるかということも、とくに地域づくり塾3期目に入るという事もあり、中間支援実態調査を進めるということなので、中間支援機能をどうしていくのか見直しの議論と合わせて、検討する時間を持たらいい。審議会の場報告をしたい。見直しだけで1年時間が経つのはもったいない。

**委員** 過去2年間で実際に現場でどのような事が行われていたのか。活動の報告がほしい。一番分かりやすいのは、地域づくり塾など。井戸端会議を発足させ公園活性化の事業も行うという事なので、実際に行われたことを方向があれば具体的見えてくるのではないか。

**委員長** 振り返りが重要だと思う。初めての方もいるので、すぐにやるのではなく、もう一度振り返る。昨年度の終わりにありましたが、もう一度2回目にしたうえで進めていきましょう。

**委員** できていないことに着目する事も大事ですが、出来ていることをもう一度みんなで見ること大事だと思う。

**委員長** 実態調査はいつごろできるのですか。どのような調査か。見直しに影響するのではないか。審議会の日程はずらしてはどうか。審議会や、契約を急いでいる理由はあるのか。

**事務局** 実地調査は12月頃を想定しております。どういった団体があるか。市民協働推進課も把握できていなかったのも、社会貢献を目的とする自主的な市民団体の活動を広く調査を行い、把握して、市民協働推進審議会の施策に反映できるような材料にできればと考えております。

**事務局** 昨年度の会議を振り返りながら、平成29年度の議事録概要を見ながら説明します。29本の具体的施策あって、12本の重点施策があるが、3本の大きな柱を支えるためにどういった見直しを図るのかを目標としてはいかがかと考えております。

**委員長** 折角の調査については、参考にはするが、反映は難しいという考えか。

**事務局** 今年度は調査業務を行い、中間支援団体の把握を行っていききたい。審議会の日程（案）と中間支援組織実態調査日程については、第3回目以降については進捗をみながら決定していききたいと考えております。

**委員** 7月の段階では具体的なスケジュールが見えてきているはずなので、その時に検討しましょう。3回目4回目の日程については、2回目の時に情報を揃えて決めましょう。

**委員長** 第2回目までに事務局は情報を整理していただくことはできますか。7月に具体的な話をしていきましょう。

**事務局** はい。第2回審議会までに情報を整理していききたいと考えております。

**委員** 見直しの根拠になるのは、中間支援の実態調査、昨年度の振り返りなのか。

**委員長** 昨年度の振り返り、昨年の審議会で辿りついた3つの柱をいかに具体的にするか。それが基本ですが、折角、中間支援組織の実態調査するのであればそれも生かした方がよいのではないかと考えています。

**委員** 実態調査については、NPO団体等の活動実態が明らかになるぐらい、見直しに直接、影響するかはわからない。なので、各施策の進捗状況を共有して、3つの柱で、それぞれの施策をどう進めていくべきなのか、議論していくのがよいのではないか。

**委員** 市民の協働についての意識や協働を市民が知っているのか把握する調査がない。はごろも祭り、産業まつり、市外の人から見た宜野湾市ってどう映っているのだろう。人が集まるときに声を聴くことはできないのか。何万人とう人が集まる機会に、協働という業務をお知らせ、告知できたらよいのではないか。市民の声を聞くことはできないか。

**委員** この1年ぐらい、子どもの貧困対策事業、障害福祉、高齢者関係に関わっているが、意外に地域からの声を拾えていないと感じる。例えば要対協、高齢者の支え合いなど行政や福祉関係の事業所の専門職が集まっているが協働の話がない。例えば、児童家庭課、生活福祉課でヒアリングをしたが、児童家庭課に入ってくる情報は学校から入ってくる。本来は地域から情報が挙がってくるといいのだが、つながりがない。一昨年行われていた地域交流カフェのような取り組みが良かったという声もあった。地域づくり塾の卒業生などの人材どのようにつなげていけばよいかなど、具体的な解決策をどう作っていくのかを含めて振り返りができたら良い。具体的な解決策をどう生み出していくのかというのが求められていると思うが、なかなかできていない。

**委員** 地域で生まれ育った人よりもより宜野湾の特色が見えてくることもある。場が必要。私たちがつくって、そこに来てもらいたい。考える場が必要なのではないか。生の声を聞いてみたい。

**委員** 一昨年の地域交流カフェは市民協働が中心にやっていて声が拾えていた。今後はテーマを絞って、やるのもいいのではないか。振り返りの中で、協働推進課や審議会がどのように動けるか議論していけるといい。

**委員** テーマごと、部局ごとの話し合いの場はあるが、エリア的で上がってくる困りごとや課題を、解決の動きにつなげる仕組みを、協働を進めていくうえで作っていかないといけない部分ではないか。

**委員** それがあると街の底力やまちの愛着が上がる。幼対協から上がってくる情報は虐待が発生してから上がってくる話なので、それ以前の段階が必要。保育園や地域での見守

り協働が必要。そこまでいっていない。そこも含めて議論をしていきたい。

**委員** 地域支え合い活動委員会もやっていますが、支える仕組みづくりを作っていこうとしているが、十分ではない。自治会と連携しながら子育てサロンなどを実施しているが、個人情報の問題などがありなかなか難しい。

**委員** 支え合い活動委員会はどんな位置付け、役割りなのか。

**委員** 地域で安心して暮らしていける共通の課題をみんなで取り組んでいく体制を作っていく。話し合う場をどうやって活動に繋げていくか。地域の人財を活かしきれていない。自治会に加入しているどうかに関わりなく地域の課題解決のために取り組んでいくというスタンスでやっている。

**委員長** 審議会の役割としては、見直しに加えて宜野湾市に対する提案も役割としてあるのか。

**事務局** はい。

**委員** 協働推進委員の役割が不明確なので、明瞭に出してほしい。つなげる場を作っていくことも、審議会と考えてよいのではないか。

**委員** そこが一番難しい所かもしれないですね。  
中小企業同友会、JC とかも接点が無いだけで本当はなにかやりたいと考えている。  
しかし、つなぎがない。誰が担うのか。市民協働推進審議会なのか？

**委員** 宜野湾で成功したよっていう成功事例を作りたい。

**委員** 指針策定時に今後の 5 年間で行う計画やテーマは決められているので、指針に沿って進むのか、方向転換が必要なのか、修正や追加が必要なのか議論を進めていきましょう。個別の話まで進むと広がりが出てくるので、ベースを確認しながら進めていったほうがよいのではないか。

**委員** 31 年度 32 年度にやろうとしていたことができていますので、とても良いことだと思います。

**委員** 計画全体を俯瞰して全体をみるようにしましょう。

**委員長** 地域交流カフェの計画はあるのか。

**事務局** 今のところは計画していませんが、類似の話し合いの場を整理したうえで必要なものが見えてくれば検討していきたい。

**事務局** 交流カフェを経験したことがないが、介護長寿課のウィーラブぎのわんと交流カフェとの違いが整理できていない。第2層協議体を今から立ち上げると思うが動向を見ながら検討していきたい。

**委員長** 地域交流カフェみたいに何かあればよいのかな。

**委員** 何のためにやるのか。目的はどうするのが必要。いろんな課題が出てくるが、それをどう解決できるのか、仕掛ける側としては見据えておかないと、次がしんどくなる。

**委員** 発見の機会を地域の中で作ることや、こどもの居場所が広がってほしいという声がある。地域のなかで子ども包括支援の枠組みも今後出てくるので、そこに向けての交流づくりをしたらどうか。地域連絡会や校区単位の子ども支援部会、地域の活動したいと思っている人を上手く混じることが必要。そこのハンドリングを、審議会でやっていくのか、中学校区の協議体でやっていくのか協議をするすることはできるのではないかと。

**委員** テーマを絞れば、やりやすいのではないかと。そこであがった声を、テーマに取り組んでいる行政や民間団体などに引き取ってもらえるような場を設定する方がいいのではないかと。

**委員** ふくふくで講座をいれて、それからスタートしたらいいのではないかと。行政の担当の人に話してもらって、関係のある団体を繋げて行けるのではないかと。

**事務局** 検討させてください。

**委員長** ありがとうございます。そろそろお時間となりましたので、これで審議会を閉会させていただきます。

**閉会**